

なないろ

nanaïro

なないろの喜びと笑顔を
みなさまにお届けします。

春

vol.2



photo:山崎 英二

今号の1枚 **地域活動支援センター八甲の仕事場** (3面で紹介)

障がいに関わる多くの相談が寄せられる中で、所狭しと少数精鋭で頑張っております。
写真正面の笑顔が素敵な萱森さんは、2面の勤続10年記事でも紹介されています。

居宅介護支援事業所にアンケートQ

デイサービス「虹のひろば」では、私たちに足りないものは何か？数多くあるデイサービスから選ばれる事業所はどのようなところか？率直な意見を聴くため、昨年12月に市内の居宅介護支援事業所と地域包括支援センター（計132事業所）を対象にアンケートを実施しました。その一部をご紹介します。



虹のひろば以外のデイサービスも含めた「デイサービス全般」に対するアンケート結果

[132事業所中51事業所(39%)回答]

Q デイサービス事業所を紹介する際にケアマネジャー個人として選ぶ優先順位を2つ教えて下さい。

1位 サービスの質

2位 食事・送迎・レクの充実

3位 情報共有の交換
個別機能訓練の内容

» 利用者様への直接的な応対・サービスとなる項目が上位を占めました。

Q ズバリ！紹介したくないデイサービス事業所はありますか？

1位 ある！ (62%)

2位 ない

3位 その他

» 情報共有を発展させサービスの充実に取り組む必要性を痛感しました。

今回のアンケートから改めて「情報共有の充実」「サービス内容の向上」「スタッフ全体の質強化」など、全てにおいて振り返りと改善が求められていることを認識しました。

ひろばスタッフ全体で振り返り、実践してまいります。 デイサービス虹のひろば 事務長／佐藤 真人

勤続10年 昨年12月9日に行われた法人創立記念のつどい・忘年会で10年勤続表彰が行われました。



古株の職員になって
いる事に驚き。

地域活動支援センター八甲
障害者相談支援専門員／萱森 静香

私自身あつという間でしたが、周りを見渡すと自分自身が割と古株の職員になっている事に驚きます。今一度、周りの方々への感謝を忘れず、健康に気をつけて、学びを忘れずに仕事をしていきたいです。



夢中で働き続け、
気付いたら10年。

社会福祉法人虹 本部
介護部長／阿部 雪子

周りの皆様に支えられながら夢中で働き続け、気付いたら10年勤続になっていました。退職まで残りわずかです。介護をめぐる情勢は厳しいですが、みんなで団結して、乗り越えていきたいとします。



勤続20年は、20歳の娘
とおいしいお酒を。

ヘルパーステーションはるかぜ
事務長／山崎 英二

この10年間は諸先輩方にお世話になった記憶しかありません。これからの10年は少しでも後輩から「助けられた」と言われるように頑張り、勤続20年のお祝いには20歳になった娘とおいしいお酒を飲めたら良いと思います。



【お食事】

おしょくじ



ショートステイ・デイサービスの食事は、あおりコープフーズで作っています。調理した料理を0度～3度のチルド状態で厨房まで運搬し、温かいおかずは再加熱、冷たいおかずは冷たいままで利用者様に提供しています。委員会を開いて利用者様の声を届け、毎月振り返りして改善に努めています。

行事日には行事食を、デイサービスでは年に数回ほどバイキング形式で提供しています。3月はひなまつり。おいしく召し上がっていただくために心を込めて作ります。

あおりコープフーズでは宅配お弁当も承っておりますので、ぜひご利用下さい。 **tel 017(752)8181**

ショートステイ虹の郷 栄養士/工藤 由希

法人社保平和委員会
委員長/山崎 英二



クッキーで作ったお菓子の家



創作活動で、デコパージュ石けん作り・入浴剤・お菓子作りなどを行っています。

事業所紹介 地域活動支援センター八甲

地域活動支援センター八甲は、障がいをお持ちの方が交流できる場を提供したり、困った時に相談ができる所として平成9年から活動しており、現在は4名のスタッフが常勤しています。

創作活動や地域交流など気軽に参加できるプログラムを通して、利用者様の自立や社会参加の促進をお手伝いしています。また、専門の相談員がお電話や来所でのご相談に対応したり、障害福祉サービスを利用する時に必要なサービス等利用計画の作成や、長期入所や長期入院をしている方の地域生活への移行などの相談支援も行っています。今後も皆さまにとって利用しやすいセンターを目指していきたいと思ひます。

地域活動支援センター八甲 所長/佐藤 織恵

カレーを食べて、広島へ。

法人社保平和委員会では毎年8月に行われる原水禁世界大会への単独派遣のため、財政活動を行っています。その中でも年に1回行っている「カレー食堂」の売り上げが、一番財政活動に貢献しています。

昨年はこの財政から虹の郷の看護師の黒川奈津美さんが広島に行きました。現地を見てくる職員を財政面も含めて自分達で派遣する、平和活動の基本となるとても大切なことです。

これからも自分達の力で現地に送れるように財政活動を続けていきますので皆様ぜひご協力ください。

て・あーて塾 に参加して

<http://tearte.or.jp/school/>

昨年11月26・27日、ショートステイ虹の郷で「て・あーて塾」が開催されました。青森県内外の幅広い分野から27名の参加がありました。

痛むところにそっと手を当てる・不安な人の手を握るなど、病を癒し苦痛を和らげる為に昔から「手」を用いたケアがありました。高度化した医療技術の進歩などが影響し、昨今は「手」を用いたケアが疎かになっていました。しかし、東日本大震災が医療の在り方を考えるきっかけとなり、「手」の価値をもう一度見つめ直そうと、手を用いたケアの総称として「て・あーて」という言葉が生まれました。

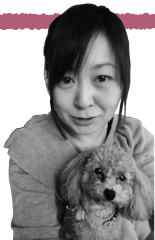
人の気持ちは言葉や行動で伝えるものだと思っていたが、「手」の温もりは難病で苦しんでいる方・自分の気持ちを言えない方・聞こえない方・見えない方など、すべての人に癒



しを伝える術であることを実感しました。「手」から伝わる思いや、温もりがとても心地よく、ちょっとした時に手を添えるだけでもお互いの気持ちを伝えられる気がします。

認知症の方や重度の方などの声にも「耳」や「目」を向け「手」を添えて、その人らしさを引き出しているかよく考え、1人でも多くの職員が利用者様の心に寄り添ったケアが出来るといいなと、とても強く思いました。

ヘルパーステーションはるかぜ 介護福祉士/吹上 育子
デイサービス虹のひろば 介護福祉士/千代谷 美美枝



沢山笑って免疫力UP!!

愛犬ルル(トイ・プードル)と一緒に笑って癒し&ストレス解消!

私はお笑いが好きで、お笑い番組を録画して見えています。

中でもおすすめなのは『有吉の壁』です。有吉弘行さんと佐藤葉里さんが司会で、大学や遊園地等与えられた場所で、たくさんの芸人さんが即興でネタを作り、色々な場所に潜んで有吉さんらが通り掛かったタイミングで笑わせる、という下

no.2 職員休憩室。

らなくも楽しい番組です。舞台では出せない笑いがあり、まさに芸人の腕の見せ所だと思います。約3ヶ月に1度程度、不定期に放送されるので、次回はいつ放送があるかわからないという魅力もまた何とも言えません。

笑うことは免疫力を上げるとも言われています。笑う門には福来たる、皆さんもお笑い番組を見て免疫力をアップさせてみてはいかがでしょうか。

居宅介護支援事業所 野いちご 事務/木村 玉代

●ご意見・ご要望をお待ちしております。

この機関誌に関する、ご意見・ご要望、読者様の俳句・川柳・その他ご趣味などがございましたら、ぜひ下記までお寄せ下さい。



なないろ vol.2 2017年3月発行(次回発行予定 2017年5月) 発行部数/1,100枚 発行責任者/山崎繁喜

発行元/社会福祉法人「虹」 〒030-0131 青森県青森市問屋町1丁目15-10 TEL 017(738) 1133 <http://nijiweb.net/>

配布先/社会福祉法人虹 本部・デイサービス虹のひろば・デイサービス虹のひろば新城・ショートステイ虹の郷・ヘルパーステーションはるかぜ
・居宅介護支援事業所 野いちご・地域活動支援センター八甲・自立訓練所 ほのぼの寮・グループホームあおぞら